夢と志【学校通信】

平成 27 年 1 月 8 日

第 76 号

西中の風

～『信頼と笑顔、品位を備えた成長』～

伊丹市立西中学校長

豊田　實

新年を迎えて、未年に想う

～　保護者（家庭）と教師（学校）の連携　～

明けましておめでとうございます。

平素は本校教育活動の推進につきまして、ご理解をいただき厚くお礼申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。学校経営の基盤として首尾一貫「信頼」を示しています。保護者の皆さんが来校される際にお話し、教職員には諸会議等にて学年経営、学級経営、行事・課外活動等で信頼し合うことを大切にして職務にあたるよう繰り返し周知しています。生徒たちにも集会のときには、学校での良いことは積極的に、残念なことやトラブルも、自宅でお話しするようにすすめています。「皆さんの成長に大切なこと、お父さん、お母さんと先生たちの思いや考えが同じ方向であることが一番なのです」と伝えています。

優勝　兵庫県新人大会バスケットボール競技　12月27日・尼崎ベイコム総合体育館

文武両道に一定の成果を上げています。昨年測定した全国体力・運動能力調査（全国すべての中学校２年生対象：計８種目）において、本校平均点は優秀な結果となりトップレベルの体力合計点です。生徒たちが励みとする部活動では、年末にはバスケットボール部が県新人大会で優勝し県下中学校３００校の頂点に立ちました。また、吹奏楽アンサンブルコンテストでも入賞し、県コンクールへの出演が決まりました。今後も、アイホールでの演劇部上演が楽しみです。演劇部はめきめきと演出・演技力を身につけており、観劇の楽しみを提供してくれます。特筆すべきは、PTA役員さんたちが競技会場へ出かけて、また、コンクールや発表上演の際には観客となって応援し、成長を喜んでいただいていることです。熱心な役員活動で貢献しながら保護者同士のお付き合いを広げておられます。自己を高める姿勢に、私は学んでおります。子どもは大人の後姿を見ていると言われます。お父さん、お母さんと、教師の仲が良ければ、子どもの心が安定します。本校の特徴は、若手職員がPTA役員さんたちと顔を合わせ楽しく話し合う機会を持てることにあります。また、PTA役員と職員の顔の見える関係づくりを日常的に進めるために、プライベートな話題もよしとして職員を月例企画委員会に招いて７分スピーチを続けています。

家庭・学校の連携による顕著な効果として、スマートフォン・携帯所持を見合わせていることがあります。メールのやりとり、ゲーム等に没頭してしまう依存性を除くことで、一定生徒たちの生活習慣・学習習慣を安定させています。また、様々なトラブル防止に波及効果があります。

昨年１１月、学校補導連絡会（保護者、保護司、自治会長、主任児童委員、少年補導委員、少年進路相談員、関係機関等関係者、教職員等）が行われました。健全な生活に導く必要がある生徒の存在も確認しつつ、素直に育っている生徒たちのことが主な話題となりました。例えば、学校から離れたところで登下校時にユ

ニホーム姿の補導委員さんに挨拶をする生徒がいると喜んでおられました。合唱コンクールでは級友一丸となって懸命にハーモニーをつくり上げる姿に感動されていました。すると、自治会からも私も同じことですが発言したいと申し出られました。来校された観衆をもてなそうという生徒たちのすがすがしい心意気を称えてくださいました。会議に先立って授業参観された感想もこまやかなものでした。青年を更生させることに尽力されている方（保護司）は、授業中における教師と生徒の心の通い合いに気付かれていました。廊下、教室内の掲示物の質の高さ、校舎内の清掃状況等すべてにおいて見届けられていました。社交辞令ではない洞察力のあるご意見はありがたいものです。健全育成のための話し合いの場を複数回出席されている方からの感想も伝え聞きました。関係者が学校の課題を見据えつつ異口同音にこれほどに多く称えられること、生徒たちは素直だ、良い子たちが大部分だ、回り道している子どもを何とか健全にするため、私たちも協力しようという建設的な話し合いに感心されていたそうです。

　昨年締めくくりの職員会議で、年度当初に示した方針を一部改めて伝えたことがあります。

※教育目標（めざす学校像）「生徒たちの学びを支えるため家庭、地域社会と連携する学校」としています。

　明白なこととして子どもの生活の場は学校に限られてはいない。子どもの生活の場は、家庭であり、学校であり、地域・ご近所であること。重大な責務で教師は教育活動に努めているが、子どもは学校だけで育つのではないということ。だから大人の連携は大切なのです。自らの心に深くきざみつけていることですが、「よい教育はあっても、パーフェクトな教育はない」ということです。教職員は、自信を持って指導に臨むべきですが、おごり高ぶることは教職者としての資質に欠けることです。子どもの琴線にふれるかかわりとは何かを常に内省してもらいたいと伝えています。

伊丹市立西中学校ホームページ、トップの
保護者と教員が連携するための学校生活・学校行事フォトグラフ」
をクリック願います。（12 月掲載：PTA 役員と職員の顔の見える関係づくり・学校補導連絡会等）

★★★「兵庫県新人大会バスケットボール競技優勝記念」の横断幕をはりだす予定です。

フルート二重奏による
クリスマスソング演奏
12月25日校長室

吹奏楽部　伊藤さくらさん
米谷美咲さん

11/28　授業参観　少年補導委員、保護司、自治会、主任児童委員、
少年愛護センター少年進路相談員、PTA等授業参観